

令和5年 第18回帯広市教育委員会会議録

1. 令和5年9月29日 金曜日 16時00分～16時35分
帯広市教育委員会会議を市役所10階第5A会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	広 瀬 容 孝
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	柳 川 久
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	藤 澤 郁 美

3. 本日の議事日程

- | | |
|------|--------------------------|
| 日程第1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第2 | その他(1) 帯広市議会9月定例会の報告について |
| | その他(2) 今後の事業予定について |
| | その他(3) 寄附受納について |
| | その他 |

広瀬教育長

ただいまから、令和5年第18回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は、全員であります。

会議は、成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(加藤企画総務課長 報告)

広瀬教育長

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、藤澤委員及び柳川委員を指名いたします。

日程第2、その他に入ります。

その他(1)帯広市議会9月定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村木 室長

帯広市議会9月定例会における質疑のうち、私から、学校教育部に関する質疑の概要についてご報告いたします。本日本配布いたしました議案をご覧ください。今回は、一般質問20名中8名、決算審査特別委員会中教育費では12名中8名、歳入では12名中1名の議員から質問がございました。はじめに、今識史議員の質問中、教育現場の課題については、帯広市の教員不足の状況についての質問に対し、帯広市内の小中学校においては、中学校教員1名が欠員となっているものの、深刻な教員不足の状況にはなっていない旨を答弁しております。次に椎名成議員の質問中、子どもたちの命を守る学校教育については、学校における熱中症対策についての質問に対し、熱中症危機管理マニュアル等で、涼しい場所への避難や水分・塩分の補給、速やかな救急搬送等、具体的な対応について示されており、各学校へ通知し指導してきた旨を答弁しております。また、エアコンの設置について北海道市長会を通じて、町村会とともに、国に対して要望をしてくれており、国や道、自治体が一体となって取り組みを進める必要がある旨を答弁しております。次に大平亮介議員の質問中、子育て支援とまちづくりでは、学校給食の無償化についての質問に対し、帯広市としては、学校給食法に基づき、食材の購入に必要な経費は保護者に負担していただくとともに、経済的な理由により負担が困難な家庭に対しては、生活保護や就学援助などの制度に基づき支援していく旨を答弁しております。次に柳田健太郎議員の質問中、学校現場における熱中症対策では、エアコンの設置の必要性に絡めて、義務教育における地域間格差に関する市の考え方の質問に対し、義務教育に関する基礎的な環境の整備については、住む地域に関係なく、子どもたちに行き届いた教育を保障するために、基本的には国が相応の支援を行うべきと考えており、国において、環境整備を進める予算確保及び補助率の引き上げを行うよう、北

海道市長会や北海道都市教育委員会連絡協議会、及び北海道都市教育長会を通じて要望を行っている旨を答弁しております。次のページ、木幡裕之議員の質問中、学校教育と清掃については、小中学校における清掃活動の意義と目的についての質問に対し、清掃活動などを通じて、1人1人の子供たちに、学級や学校のために友達と力を合わせて働くことの意義を理解させたり、工夫しながら自己の役割を果たすことができるようにするとともに、社会の一員として、責任をもって主体的に行動しようとする態度を養うことを目的に実施している旨を答弁しております。次に大塚徹議員の質問中、自治体経営の推進については、不適正な事案に対する今後の再発防止の考え方に関する質問に対し、職員1人1人が業務執行過程におけるリスクの存在を十分に認識するよう促すとともに、組織的なチェック体制を強化するなど、改めて適正な業務執行の指針に基づく対応を徹底していく旨を答弁しております。次に谷保寿彦議員の質問中、特別支援学級におけるICT活用については、特別支援学級におけるICT機器の活用状況についての質問に対し、タブレット端末の音声入力を活用して文字を入力したり、写真やスライドなどの視覚的な資料を活用するなど、子供1人1人の教育的ニーズに合わせてICTを効果的に活用している旨を答弁しております。最後に鬼塚英喜議員の質問中、市のフードロスの発生状況と取り組みでは、小中学校でのフードロスの教育状況についての質問に対し、小学校5年生社会や中学校家庭科の授業などにおいて、主な食料の生産地や日本の食料自給率、フードロスに関する学習を行っているほか、総合的な学習の時間の中で取り組むおびひろ市民学では、食育に関する学習を行っている旨を答弁しております。このほか、3ページ、4ページに決算審査特別委員会での質疑について、記載のとおり質問があったところです。なお、議案審査特別委員会については、学校教育部に関する質問はございませんでした。学校教育部に関する報告は、以上であります。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部に関する質疑の概要についてご報告いたします。今回、一般質問では6人の議員から、決算審査特別委員会では9人の委員から、議案審査特別委員会では6人の委員から、質問がございました。一般質問では、椎名成議員の質問中、令和3年の成人の集い代替イベントについて、新型コロナウイルス感染症拡大により、令和3年1月に成人の集いが中止になったことから、この年代を対象に集合形式のイベントを実施してはどうかとの質問に対し、代替イベントとしてフォトスポットの設置やお祝いの動画配信を実施したことから、集合形式の集いを実施する考えは持ち合わせていないが、実施するにあたっての課題等、

内部で議論していく旨の答弁をしております。次に、林佳奈子議員の質問では、公共施設の運営と今後の展望について中、帯広市民文化ホールでは、旧長崎屋駐車場の解体に伴う帯広市民文化ホール代替駐車場の選定の進捗や今後のスケジュールについての質問がありました。これに対し、代替駐車場の選定も含め、様々な可能性を探っているところであり、具体的な候補地を調査し、検討を進めている、また、今後のスケジュールについては、年内には方向性をお示しできるよう検討を進めている旨の答弁をしております。次に、大和田三朗議員の質問中、アニマルウェルフェアについては、先の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、選手・役員等に提供する食材のうち、畜産物の調達基準が定められていなかったことに触れ、11月に開催するワールドカップスピードスケート大会時の対応についての質問があり、本大会については、主催者から食材等の基準が示されていないことから、従来通りの食材での対応を行うとしているとの答弁をしております。次に、藤浦有希議員の質問中、潤いのある暮らしと地域をつくる、市における文化芸術の推進では、市の文化振興に対する基本的な考えの質問に対し、誰もが楽しく文化芸術活動に携われる環境づくり、指導者の育成を図るなど、市民の主体的な文化芸術活動を推進することが地域づくりにも重要と認識していることから、今後も第7期帯広市総合計画や第2期帯広市教育基本計画に基づき、市民が多様な文化芸術活動に携われるよう取り組んでいく旨の答弁をしております。次に、谷保寿彦議員の質問中、おびひろグリーンステージについては、グリーンステージでの野外イベントの利用申し込みを断わった理由について質問があり、過去、ロックバンド演奏で、近隣住民から多数の苦情が寄せられたことから、迷惑となるジャンルについてはグリーンステージ条例施行規則に基づき、お断りしている旨、答弁しております。最後に、岡坂忠志議員の質問中、土地利用の方針と方向では、岩内自然の村の今後の利活用についての質問に対し、建物など、解体撤去する方向で現在アスベスト・ダイオキシン調査を行っていること。また、今後の土地利用については、観光部署において、ポロシリ自然公園周辺と一体的なアウトドア観光の拠点の1つとして利活用を進めていく旨、答弁しております。このほか、決算審査特別委員会や議案審査特別委員会での質疑について、それぞれ3ページから5ページに記載のとおり質問があったところです。生涯学習部に関する報告は、以上であります。

これから質疑に入ります。

2つ質問させていただきます。まず、学校教育部について、鬼塚議員の質疑で、フードシェアリングサービスというのは具体的

広瀬教育長
柳川 委員

にどういったことをされているのか、ということが1つ。2つ目が生涯学習部の大和田議員の質疑で、アニマルウェルフェアについてですが、こういったことに対応できる食材を導入するのは現実的ではないように感じるので、そこについてお聞きしたいと思います。

小林 課長

ご質問中のフードロス削減とフードシェアリングサービスについてですが、資料では学校教育部ということになっていますが質問の回答は都市環境部で説明をしております。消費期限間近な食品の販売促進を目的としたサービスのアプリ等と連携をしながら、無駄なもの、食品ロスの削減に有効な取り組みをすべきではないかという質問に対して、都市環境部で今後、調査研究をしていきたいといった回答をしております。

佐藤スポーツ課長

アニマルウェルフェアについてですが、東京オリンピック・パラリンピックの際に、アニマルウェルフェアに配慮した食事の提供ができていなかったということで、帯広市の家畜の状況はどうか、11月に帯広市でワールドカップのスケート大会があるが、フードバレー十勝を掲げている十勝においてはどうなっているのか、という議員からの質問でした。ワールドカップにおいては業者に委託して運営しているので確認を取りましたが、今のところそういったものに配慮した取り組みはしておらず、今回についても予定はしていないとの回答を得ましたのでその旨を答弁させていただきました。以上です。

田中 委員

分かりました。

藤澤 委員

谷保議員のおびひろグリーンステージについてですが、実質的にグリーンステージは利用していないということではよろしいのでしょうか。

天池 課長

グリーンステージ自体は利用されております。設置当初は音楽のイベントも考えられていたとは思いますが、現在は主に野遊会や氷まつりのイベントのステージとして使われております。

田中 委員

椎名議員の闇バイトと特殊詐欺について、これは恐らく小中学校への啓発ということになるのかと思って聞いていましたが、その理解でよろしいかということと、一般的には闇バイト、特殊詐欺というのは警察が主体になると思いますが、教育委員会としてどのように連携をされているのか、教えていただければと思います。

小林 課長

椎名議員の質問につきまして、学校においては青少年センターだよりやネットトラブルの研修会で啓発活動をしているとお答えしております。

田中 委員

警察と連携をしながら学校で対策を立てているということではないということではよろしいでしょうか。

- 小林 課長 学校では警察と連携して薬物乱用や犯罪についてもしっかりと予防しなければならない、ということで連携を取りながら子どもたちへの指導をしているところです。
- 佐々木委員 椎名成議員の、通学路の見守り活動についての質問部分ですが、どのような内容であったか教えていただけますか。
- 村木 室長 椎名議員ですが、子どもの見守り活動について、交通事故の件数などを聞いた後に、安全対策として学校ではどのような取り組みをしているのかというご質問に対して、交通安全教室や保護者や教職員による見守り活動をしている、といった答弁をしております。議員としては、下校時の体制が手薄なのではないか、といったご質問もありまして、教育委員会としてもそういった認識はありますが、なかなか難しい面もありますので、見守りパトロール中のステッカーを企業の車に貼ってもらうことや、パトロールカーなどの配置などの啓発活動を通じて不審者対策をしている旨をお伝えしております。
- 佐々木委員 ありがとうございます。
- 広瀬教育長 他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。
その他（２）今後の事業予定についてを議題といたします。
直ちに説明を求めます。
- 村木 室長 学校教育部の今後の事業予定についてご報告いたします。議案書 1 ページをご覧ください。まず、学校地域連携課からの報告になります。第 52 期秋季地域子ども会リーダー宿泊研修会が、10 月 14 日から 1 泊の予定で児童会館にて実施されます。次に、学校教育指導課からの報告になりますが、記載のとおり 5 校で、教育実践発表会が行われます。学校教育部からは以上です。
- 河瀬 室長 続きまして、生涯学習部に関する主な事業予定につきまして説明させていただきます。議案書 2 ページから 3 ページ記載の生涯学習文化課では、10 月 22 日に劇団四季によるミュージカル・コメディの舞台を開催するほか、市民大学講座など各種行事をご覧の日程で開催いたします。次に、4 ページ、図書館では、読書週間事業を、10 月 27 日から 11 月 9 日まで開催いたします。次に、5 ページから 7 ページになります。児童会館では、10 月 7 日に野草園秋の散策会ほか、各種教室など、ご覧のとおり開催いたします。続きまして、百年記念館では、10 月 7 日から 10 月 29 日までアイヌ文化ロビー展や、10 月 8 日には市指定文化財の一般公開事業として、とてっぽ機関車の内部を公開いたします。その他講座につきましてはご覧の日程で予定しております。次に、動物園では、10 月 1 日に動物のくらしがもっとわかるフィールドワークのすすめと題して特別講演会を開催いたします。また、ご覧の日程で体験会などを実施いたします。最後に、スポーツ課では、10 月

9日に令和5年度スポーツ賞スポーツ奨励賞の贈呈式を予定しているほか、10月29日には2023フードバレーとかちマラソン大会を開催いたします。生涯学習部に関する主な事業予定は、以上であります。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（3）寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村木 室長

学校教育部の寄附についてご報告いたします。議案書11ページをご覧ください。学校地域連携課担当分として、地域ぐるみで子どもを応援する活動の推進のため、市外在住の方364名より460万4千円を、学校教育課担当分として、読書活動や教材として活用することにより、子ども達に松浦武四郎が残した功績を伝えていくため、井村屋グループ株式会社様より「自由訳東蝦夷日誌七編」200冊を、また、学校教育の振興のための奨学事業や、教育の研究及び教育環境の整備に役立てるため、市外在住の方429名より537万4千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、こども学校応援地域基金他1基金に積み立てるものです。学校教育部からは以上でございます。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部に関する寄附につきまして、ご報告いたします。議案書12ページであります。はじめに、生涯学習文化課では、風土に根ざした文化の振興のためとして、市外在住の方147名より189万7千円をご寄附いただいております。次に、図書館では、図書資料充実のためとして、市外在住の方134名より173万2,900円を、動物園では、動物展示施設等の整備及び動物の購入のためとして、市外在住の方187名より264万6千円をご寄附いただいております。最後に、スポーツ課では、スポーツ振興のためとして、市外在住の方1,620名より2,026万9千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、ふるさと文化基金他3基金に積み立てるものです。生涯学習部からは、以上であります。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

藤澤 委員

井村屋グループ様からの東蝦夷日誌は北海道に500冊寄附されたということを伺いましたがその中からの200冊なのか、それとはまた別のものなのかを教えてくださいたいと思います。また、この200冊の活用法を教えてくださいたいです。

高橋 課長

ご寄附いただいた東蝦夷日誌ですが北海道に寄附されたものとはまた別に200冊を寄附していただき、40校にそれぞれ5冊ずつ配付しております。

田中 委員

ふるさと納税について、生涯学習文化課とスポーツ課だけ突出

して多いと思います。前は動物園が多かったと記憶していますが、今回なぜこのような結果になったのか、分かる範囲で教えていただきたいと思います。

河瀬 室長

帯広市のホームページのふるさと納税の画面で、以前は動物園を上の方に並べておりましたが、今年の4月から順番を変えまして、スポーツを上にしたところ、増額いたしました。

田中 委員

表示の影響がかなり大きいということだと思いますが、ホームページの表示の扱いもなにか考えられてはいかがでしょうか。

井上 部長

ふるさと納税のサイトで寄附金を何に使って欲しいかというチェックボックスがありまして、今までは動物園を一番上にしていたものを、スポーツを上にしたという財政課からの報告を受けております。今、帯広市全体で基金の見直しを行っておりまして、これからこういった形になっていくのか、我々も注視していきたいと思っております。動物園もそうですが、スポーツの関連施設にも修繕等でお金がかかりますので、我々としてはありがたい結果となっております。

田中 委員

わかりました。ありがとうございます。

広瀬教育長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局から、その他説明事項はありますか。

事務局

ございません。

広瀬教育長

事務局からは、特にないようですが、各委員から他にご意見、質問等があれば、お受けいたします。

別になければ、ここで、会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第3の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第2号により秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、そのとおり取り扱いたします。

これより、会議を秘密会といたします。

(以下、非公開)

広瀬教育長

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これをもちまして、令和5年第18回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。